

沢山の方々から応援メッセージをいただきました

(敬称略)

もう一人の漱石は私の曾祖父



黒川 清

今年6月なかば、ロンドンからの突然の電話に始まり、蒲島熊本県知事のお世話で、電話の一週間後には英国ロイヤルバレーの熊本訪問が実現しました。嘉島町では中学生、幼稚園児たちも参加したイベントなどが行われ、また約100人の方々が福岡でのリハーサルに参加する機会がありました。地震とその災害でつらい時期の熊本での明るいニュースでした。いくつも記事にもなっています。

このロイヤルバレーの熊本訪問の数日後、知事から電話があり、黒川「漱石」と私との関係を尋ねられました。びっくりしました。「もう一人の漱石」とも言われた私の曾祖父なのです。

そしてこの『アイラブくもと 漱石の四年三ヵ月』という公演がこの9月に熊本で、12月には東京の新宿で行われるというのです。舞台には曾祖父も登場し、二人の漱石が俳諧論議をすることのこと。私も新宿牛込に居を構えています。夏目漱石がその生涯の最後の10年を過ごし、「三四郎」「それから」「こころ」といった代表作を著わした「漱石山房」、そしてまた早稲田大学につながる夏目坂もすぐ近くなのです。

わずか2週間ほどの間に起ったロンドンに始まる熊本、漱石、新宿牛込と「二人の漱石」につながる100年の時を超える不思議なご縁に驚いています。

(医学者、日本学術会議会長、内閣特別顧問など歴任)